



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 三洋工業株式会社  
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 菊地 政義  
 (氏名) 園田 崇之  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5611-3451  
 2020年12月4日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,748	△7.1	232	13.7	342	17.6	176	18.8
2020年3月期第2四半期	11,572	1.7	204	—	290	—	148	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 217百万円 (40.5%) 2020年3月期第2四半期 155百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	52.11	—
2020年3月期第2四半期	43.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	23,063	15,579	67.5	4,593.37
2020年3月期	25,864	15,480	59.9	4,564.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,579百万円 2020年3月期 15,480百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,000	△9.6	800	△49.7	900	△49.0	650	△45.0
								191.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,520,000 株	2020年3月期	3,520,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	128,275 株	2020年3月期	128,246 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,391,735 株	2020年3月期2Q	3,391,842 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月～2020年9月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令され、これに伴い経済活動が大きく停滞し、企業収益が急速に減少するなど厳しい状況に陥りました。また、緊急事態宣言解除後も、感染再拡大の懸念から、景気回復の足取りは鈍く先行き不透明かつ予断を許さない状態が継続しております。

当社グループを取り巻く建築業界におきましては、政府建設投資が堅調に推移する一方、コロナ禍を背景に、持家や貸家の減少に歯止めがかからず全体の新設住宅着工戸数を押し下げているほか、非住宅建設においても倉庫を除き工場や店舗等の着工床面積が落ち込むなど、建築需要は総じて減少傾向が続いております。

こうした市場環境の中で当社グループは、引き続き社員の健康と安全を最優先に3密回避対策の徹底と、時差出勤やサテライトオフィスでの勤務及び一部在宅勤務といった柔軟な対応を図ってまいりました。また、コロナ禍による需要減少に鑑み、全社的にコスト削減を行いながら、2年目を迎えた中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 73」の達成に向け基本経営戦略に沿った各種施策に全力で取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全体の売上高は10,748百万円(前年同期比7.1%減)となりました。また、利益面におきましては、売上総利益率の改善を図ったことに加え、販管費を削減したことにより、営業利益は232百万円(前年同期比13.7%増)、経常利益においては342百万円(前年同期比17.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は176百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、新設住宅着工戸数の落ち込みを背景に、戸建住宅用製品の売上高が減少したほか、ビルや商業施設用の一般製品においても、需要減退の影響を受け、軽量壁天井下地全体の売上高は減少となりました。

また、床システムにつきましては、学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やマンションなど集合住宅用の遮音二重床製品及び環境配慮型のデッキフロア等が第1四半期に続き好調に推移したことから、床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、スパンドレルが伸長したものの、主力製品であるアルミ笠木やエキスパンション・ジョイントカバー及びその他のアルミ関連製品が低迷したことから、アルミ建材全体の売上高は減少となりました。

この結果、売上高は9,136百万円(前年同期比5.9%減)、セグメント利益は257百万円(前年同期比37.2%増)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム子会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力取扱い製品である鋼製床下地材製品や床関連商品を中心に設計指定活動を通じてその受注活動に努めてまいりましたが、今般のコロナ禍の影響により、一部の子会社を除き、売上高が減少いたしました。

この結果、システム子会社全体の売上高は1,829百万円（前年同期比14.1%減）、セグメント損失は119百万円（前年同期セグメント損失99百万円）となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高326百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期セグメント利益17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,800百万円減少し、23,063百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,900百万円減少し、7,484百万円となりました。

純資産は、配当金の支出があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、純資産合計は15,579百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、5,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は671百万円（前年同期は1,009百万円の獲得）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益342百万円、減価償却費268百万円、売上債権の減少額3,519百万円、たな卸資産の増加額410百万円、仕入債務の減少額2,147百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は172万円（前年同期は57百万円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出167百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は131百万円（前年同期は436百万円の獲得）となりました。

これは、主に配当金の支払額118百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2020年4月1日から2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、2020年5月12日発表の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,804	5,172
受取手形及び売掛金	9,427	5,907
商品及び製品	2,298	2,671
仕掛品	145	136
原材料及び貯蔵品	594	640
その他	63	62
貸倒引当金	△52	△50
流動資産合計	17,279	14,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,814	2,756
機械装置及び運搬具（純額）	563	527
土地	2,876	2,876
その他（純額）	267	254
有形固定資産合計	6,522	6,414
無形固定資産		
ソフトウェア	224	154
その他	25	25
無形固定資産合計	250	180
投資その他の資産		
投資有価証券	478	527
繰延税金資産	108	130
退職給付に係る資産	36	91
賃貸不動産（純額）	1,000	987
その他	204	209
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,811	1,928
固定資産合計	8,584	8,523
資産合計	25,864	23,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,784	4,637
短期借入金	874	872
未払法人税等	474	190
賞与引当金	430	212
役員賞与引当金	25	12
その他	1,346	1,098
流動負債合計	9,936	7,024
固定負債		
長期借入金	2	-
繰延税金負債	3	1
退職給付に係る負債	40	39
その他	400	417
固定負債合計	447	459
負債合計	10,384	7,484
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	12,739	12,797
自己株式	△291	△291
株主資本合計	15,376	15,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	188
退職給付に係る調整累計額	△50	△43
その他の包括利益累計額合計	103	144
純資産合計	15,480	15,579
負債純資産合計	25,864	23,063

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	11,572	10,748
売上原価	8,370	7,705
売上総利益	3,201	3,042
販売費及び一般管理費	2,997	2,809
営業利益	204	232
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	9
受取賃貸料	71	105
売電収入	24	22
その他	28	16
営業外収益合計	133	153
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	34	32
売電費用	11	10
その他	0	0
営業外費用合計	47	44
経常利益	290	342
特別損失		
固定資産除却損	11	0
投資有価証券評価損	15	-
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益	263	342
法人税等	115	165
四半期純利益	148	176
親会社株主に帰属する四半期純利益	148	176



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	148	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	34
退職給付に係る調整額	△1	6
その他の包括利益合計	6	41
四半期包括利益	155	217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155	217
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	263	342
減価償却費	271	268
投資有価証券評価損益(△は益)	15	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△60	△45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△165	△217
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△2
受取利息及び受取配当金	△9	△9
受取保険金	-	△5
支払利息	1	1
固定資産除却損	11	0
売上債権の増減額(△は増加)	3,244	3,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△982	△410
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,509	△2,147
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19	△242
その他	229	106
小計	1,272	1,142
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	△2	△1
保険金の受取額	-	5
法人税等の支払額	△270	△485
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,009	671
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△50
定期預金の払戻による収入	-	50
有形固定資産の取得による支出	△105	△167
無形固定資産の取得による支出	△10	△2
固定資産の除却による支出	△1	-
保険積立金の解約による収入	63	-
その他	△4	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57	△172
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,185	285
短期借入金の返済による支出	△585	△285
長期借入金の返済による支出	△4	△4
配当金の支払額	△151	△118
その他	△7	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	436	△131
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,387	368
現金及び現金同等物の期首残高	3,035	4,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,423	5,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。